

男女共同参画対応
ビジネスシューズ

防災減災 健康靴®






免震中敷き 軽量設計 防滑対策

働く女性の多くが履いているパンプス。なぜ、働く女性だけが履きにくくて疲れやすく、しかも外反母趾になることもあるパンプスやハイヒールを履いているのでしょうか？
本当に「男女平等」であるとすれば、職場では男性も女性も同じ靴を履くべきでしょう。
もちろん、職場での女性らしさを否定するつもりはありませんが、ホンネでは多くの女性が履きたく

ないと思っているパンプス等を女性であると言うだけで職場で履くことは、男女平等の原則と「女性活躍推進法」(内閣府男女共同参画局)の観点から言えば、ある種の押し付けであり、働く女性に対する根強い「性差別」のひとつであって、このような不平等が「ガラスの天井」につながっていると思います。
いまこそ働く女性自身の意識改革と企業側の啓蒙が必要な時なのです。(薬剤師:さこまなみ)

DPDP®普及協会の目的

JIS規格の安全靴は工場や工事現場等の作業で足にケガをしないために作られた足を保護するための靴であり、いつ起きるか分からない地震や台風等の自然災害に対処することが目的ではなく、普段用の靴として堅牢すぎて重すぎます。
またJIS規格の安全靴は津波や多発する水害・土石流等からのすみやかな避難を想定していません。
さらに近年の水害では、急激に増水することから、長靴を履いて避難することが犠牲者を増やしていることも明らかとなって来ました。
つまりJIS規格の安全靴や長靴では自然災害からの迅速な避難ができません。
防災とは災害を防ぐことですが、地震や噴火等の自然災害を防ぐことは困難であり、むしろ自然災害に遭遇したとき各自がなるべくケガをせずに迅速に避難して被害を少なくする「防災減災」の発想が不可欠なのです。
日常的に履くことができる軽い「防災減災靴」で災害に備えると共に、働きながら健康づくりができて、しかも男女共同参画の時代に求められる男女同一形状の

職場で履けるオーソドックスな多機能型のビジネスシューズが「DPDP」です。
「DPDP」はこれらの多くの機能を融合させた多機能型健康ビジネスシューズであり、「DPDP普及協会」はその普及と啓蒙活動を目的に活動しております。
通勤の行き帰りも労災と見なされる時代でもありますので、男女共同参画の時代と健康企業にふさわしい「DPDP多機能型健康ビジネスシューズ」の導入をぜひ企業で取り組むべき問題としてご検討下さい。

DPDP多機能健康ビジネスシューズの対象企業(例)

デパート・航空会社・化粧品メーカー・各種健康関連企業・女性向け下着メーカー・ホテル・TV局ほか各種メディア・損害保険会社・各種出版・各種行政庁・防災関連事業等・各種労働組合
立ち仕事・営業による外回り・労災が適用される通勤の往復等に最適
工場や工事現場等の作業をのぞく、働く男女すべての男女平等・男女共同参画・女性の活躍を推進する企業

<http://dpdp.tokyo/>



経済産業省 認可
厚生労働省 設立認可

靴内環境歩行改善協同組合

えこる

お問合せ先
03-5834-9080